

<2018年度 アドバンス助産師[教員]区分更新要件の指定研修:180時間と全国助産師教育協議会の研修実施状況>

		研修内容	時間数	研修形態	日時
マタニティケア能力 10時間以上		近畿地区研修会/助産師教育に活かす切れ目ない母子ケア、妊娠期からの関わりについて	2.5h	集合	10月6日
		東京地区研修会/社会資源の活用や他職種との協働・連携を必要とする周産期の女性の支援を考える	2.5h	集合	12月22日
		全国研修会/妊娠期からの切れ目のない支援における助産師の役割	1.5h	集合	2月9日
		全国研修会/妊娠期からの切れ目のない支援	2.5	集合	2月10日
専門的自律能力 1)~5)の研修 合計100時間以上	臨地実習指導 60時間以上				
	1)教育および臨地実習 30時間以上	特定分野(助産)における保健師助産師看護師実習指導者講習会	41.0h	集合	7/20~22、7/27~29、 8/25~27、8/31~9/2
		1st研修(科目履修)/助産論	3.0h	集合	6/22~23
		1st研修(科目履修)/助産師教育方法論	39.0h	集合	7/30~8/3
		1st研修(科目履修)/助産師教育方法論演習	12.0h	集合	8/3~4、10/5~7
		1st研修(科目履修)/助産師教育課程	22.5h	集合	2019/1/25~27
		1st研修(科目履修)/助産師教育評価	13.5h	集合	2019/3/9~11
		1st研修(公開講座)/助産師教育における教授・学習活動の成立(学習理論を含む)	9.0h	集合	7/30~31
		1st研修(公開講座)/OSCEの理論と実際	7.5h	集合	8/2~3
		関東甲信越地区研修会/シミュレーション教育に関する知識を修得する	2.0h	集合	8月18日
		北海道・東北地区研修/助産師国家試験プール問題作成・登録に関する研修会	2.0h	集合	9月23日
		中国・四国地区研修/助産師国家試験プール問題作成・登録に関する研修会	2.0h	集合	9月8日
		東京地区研修会/社会的精神的支援を実際の事例から学び、教育活動への活用を考える	2.0h	集合	12月22日
		中部地区研修会/助産師国家試験プール問題作成・登録に関する研修会	3.0h	集合	12月8日
		2nd研修(科目履修)助産師教育課程概論	30.0h	集合	11/10、2019/3/30,31
	2)研究 15時間以上	1st研修(科目履修)/助産論	3.0h	集合	6/22~23
		1st研修(科目履修)/助産師教育評価	3.0h	集合	3/9~11
		全国研修会/助産学教員として自己研鑽、助産学の発展、助産サービスの向上のために必要な研究に関する知識の確認	1.0h	集合	2月9日
	3)コミュニケーション 15時間以上	1st研修(科目履修)/助産師教育方法論演習	10.5h	集合	10/5~7
		1st研修(科目履修)/助産師教育評価	6.0h	集合	3/9~11
		全国研修会/他職種連携・チームの協働	1.5h	集合	2月9日
		全国研修会/社会的媒介行為を阻害する要因としての自明性に関して	2.5h	集合	2月10日
	4)倫理 15時間以上	1st研修(科目履修)/助産論	1.5h	集合	6/22~23
		1st研修(科目履修)/助産論演習	6.0h	集合	7/13~15
		全国研修会/助産師として助産学教員として、対象である妊産婦及び学生に対して、倫理的思考に基づく倫理的行動がとれる	1.0h	集合	2月9日
	5)助産管理 15時間以上	1st研修(科目履修)/助産論	3.0h	集合	6/22~23
		1st研修(科目履修)/助産論演習	16.5h	集合	7/13~15
		1st研修(公開講座)/助産師教育の現状と課題	1.5h	集合	7月30日
1st研修(公開講座)/看護行政の最近の動向		1.5h	集合	7月13日	
ウィメンズヘルスケア能力 10時間以上	九州・沖縄地区研修会/急速なゲノム学の進歩による新しい情報を得て助産師教育を行なえる	1.0h	集合	8月4日	
	北海道・東北地区研修/子宮頸部細胞診検査の実際	2.5h	集合	9月23日	

※1st:ファーストステージ ※2nd:セカンドステージ

* 1st研修全科生は、120時間の研修(マタニティ10時間、専門的自立能力100時間、ウィメンズヘルスケア能力10時間)と臨地実習15時間に置き換えることができる。

* 2nd研修1科目2単位は更新要件50時間として認められる。

* 全国助産師教育協議会が主催する全国研修会で毎年、研究1コマ(1.5H)、倫理1コマ(1.5H)の研修を行う。

* 全国助産師教育協議会の助産師教育研修研究センターが毎年、研究5コマ(7.5H)、倫理4コマ(6.0H)の研修を行う。

* 研究・倫理に関して、日本助産実践能力推進協議会5団体と都道府県看護協会および都道府県助産師会が主催する研修会を認める。

* 各研修の申込み・詳細は全国助産師教育協議会hp、あるいは事務局へお問い合わせください。また、研修内容は随時追加されていきます。

実習ポートフォリオダウンロードページ→http://www.zenjomid.org/img/advance_format.pdf